

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 福島県)(地区名: 三穂田南部)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 福島県)(地区名: 三穂田南部)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	-	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮		○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,753	A
			スマート農業技術等の導入	-	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	59.4	B
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	2,114 6	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	皆増	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	皆増	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	90.0	A
			担い手への面的集積率	%	100.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	100.0 13.2	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,156	B
農業の高付加価値化		①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	-	- ○	B	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	-	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	-	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	-	a a a	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	○	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	○ ○	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	84.2	A

三穂田南部地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,295,417
当該事業による費用	②	1,886,592
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	408,825
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	49年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,544,884
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.54

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業 による費 用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝ ①＋②＋③ ＋④－⑤
当 該 事 業	区画整理	0	1,886,592	-	217,405	78,885	2,025,112
	計	0	1,886,592	-	217,405	78,885	2,025,112
そ の 他	頭首工	6,495	-	-	61,827	3,313	65,009
	揚水機場	0	-	-	38,529	4,821	33,708
	用水路	7,446	-	-	183,376	19,234	171,588
	計	13,941	-	-	283,732	27,368	270,305
合 計		13,941	1,886,592	-	501,137	106,253	2,295,417

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		68,977	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		124,519	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 12,554	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		14,056	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		194,998	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	61,269	7,708	0.0	0	61,269	58,913	
2	R9	1.0816	2	61,269	7,708	0.0	0	61,269	56,647	
3	R10	1.1249	3	61,269	7,708	12.0	925	62,194	55,288	
4	R11	1.1699	4	61,269	7,708	29.0	2,235	63,504	54,282	
5	R12	1.2167	5	61,269	7,708	44.0	3,392	64,661	53,145	
6	R13	1.2653	6	61,269	7,708	61.0	4,702	65,971	52,139	
7	R14	1.3159	7	61,269	7,708	84.0	6,475	67,744	51,481	
8	R15	1.3686	8	61,269	7,708	98.0	7,554	68,823	50,287	
9	R16	1.4233	9	61,269	7,708	99.0	7,631	68,900	48,409	
10	R17	1.4802	10	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	46,600	
11	R18	1.5395	11	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	44,805	
12	R19	1.6010	12	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	43,084	
13	R20	1.6651	13	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	41,425	
14	R21	1.7317	14	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	39,832	
15	R22	1.8009	15	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	38,301	
16	R23	1.8730	16	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	36,827	
17	R24	1.9479	17	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	35,411	
18	R25	2.0258	18	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	34,049	
19	R26	2.1068	19	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	32,740	
20	R27	2.1911	20	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	31,481	
21	R28	2.2788	21	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	30,269	
22	R29	2.3699	22	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	29,105	
23	R30	2.4647	23	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	27,986	
24	R31	2.5633	24	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	26,909	
25	R32	2.6658	25	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	25,875	
26	R33	2.7725	26	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	24,879	
27	R34	2.8834	27	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	23,922	
28	R35	2.9987	28	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	23,002	
29	R36	3.1187	29	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	22,117	
30	R37	3.2434	30	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	21,267	
31	R38	3.3731	31	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	20,449	
32	R39	3.5081	32	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	19,662	
33	R40	3.6484	33	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	18,906	
34	R41	3.7943	34	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	18,179	
35	R42	3.9461	35	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	17,480	
36	R43	4.1039	36	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	16,808	
37	R44	4.2681	37	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	16,161	
38	R45	4.4388	38	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	15,540	
39	R46	4.6164	39	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	14,942	
40	R47	4.8010	40	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	14,367	
41	R48	4.9931	41	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	13,814	
42	R49	5.1928	42	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	13,283	
43	R50	5.4005	43	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	12,772	
44	R51	5.6165	44	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	12,281	
45	R52	5.8412	45	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	11,809	
46	R53	6.0748	46	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	11,355	
47	R54	6.3178	47	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	10,918	
48	R55	6.5705	48	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	10,498	
49	R56	6.8333	49	61,269	7,708	100.0	7,708	68,977	10,094	
合計 (総便益額)									1,439,795	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 4,921	129,440	0.0	0	△ 4,921	△ 4,732	
2	R9	1.0816	2	△ 4,921	129,440	0.0	0	△ 4,921	△ 4,550	
3	R10	1.1249	3	△ 4,921	129,440	12.0	15,533	10,612	9,434	
4	R11	1.1699	4	△ 4,921	129,440	29.0	37,538	32,617	27,881	
5	R12	1.2167	5	△ 4,921	129,440	44.0	56,954	52,033	42,767	
6	R13	1.2653	6	△ 4,921	129,440	61.0	78,958	74,037	58,513	
7	R14	1.3159	7	△ 4,921	129,440	84.0	108,730	103,809	78,886	
8	R15	1.3686	8	△ 4,921	129,440	98.0	126,851	121,930	89,093	
9	R16	1.4233	9	△ 4,921	129,440	99.0	128,146	123,225	86,576	
10	R17	1.4802	10	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	84,121	
11	R18	1.5395	11	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	80,885	
12	R19	1.6010	12	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	77,774	
13	R20	1.6651	13	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	74,783	
14	R21	1.7317	14	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	71,907	
15	R22	1.8009	15	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	69,141	
16	R23	1.8730	16	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	66,482	
17	R24	1.9479	17	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	63,925	
18	R25	2.0258	18	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	61,466	
19	R26	2.1068	19	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	59,102	
20	R27	2.1911	20	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	56,829	
21	R28	2.2788	21	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	54,643	
22	R29	2.3699	22	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	52,541	
23	R30	2.4647	23	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	50,521	
24	R31	2.5633	24	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	48,578	
25	R32	2.6658	25	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	46,709	
26	R33	2.7725	26	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	44,913	
27	R34	2.8834	27	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	43,185	
28	R35	2.9987	28	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	41,524	
29	R36	3.1187	29	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	39,927	
30	R37	3.2434	30	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	38,392	
31	R38	3.3731	31	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	36,915	
32	R39	3.5081	32	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	35,495	
33	R40	3.6484	33	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	34,130	
34	R41	3.7943	34	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	32,817	
35	R42	3.9461	35	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	31,555	
36	R43	4.1039	36	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	30,341	
37	R44	4.2681	37	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	29,174	
38	R45	4.4388	38	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	28,052	
39	R46	4.6164	39	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	26,973	
40	R47	4.8010	40	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	25,936	
41	R48	4.9931	41	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	24,938	
42	R49	5.1928	42	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	23,979	
43	R50	5.4005	43	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	23,057	
44	R51	5.6165	44	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	22,170	
45	R52	5.8412	45	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	21,317	
46	R53	6.0748	46	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	20,498	
47	R54	6.3178	47	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	19,709	
48	R55	6.5705	48	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	18,951	
49	R56	6.8333	49	△ 4,921	129,440	100.0	129,440	124,519	18,222	
合計 (総便益額)									2,115,445	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 21,334	8,780	0.0	0	△ 21,334	△ 20,513	
2	R9	1.0816	2	△ 21,334	8,780	0.0	0	△ 21,334	△ 19,724	
3	R10	1.1249	3	△ 21,334	8,780	12.0	1,054	△ 20,280	△ 18,029	
4	R11	1.1699	4	△ 21,334	8,780	29.0	2,546	△ 18,788	△ 16,060	
5	R12	1.2167	5	△ 21,334	8,780	44.0	3,863	△ 17,471	△ 14,360	
6	R13	1.2653	6	△ 21,334	8,780	61.0	5,356	△ 15,978	△ 12,628	
7	R14	1.3159	7	△ 21,334	8,780	84.0	7,375	△ 13,959	△ 10,608	
8	R15	1.3686	8	△ 21,334	8,780	98.0	8,604	△ 12,730	△ 9,302	
9	R16	1.4233	9	△ 21,334	8,780	99.0	8,692	△ 12,642	△ 8,882	
10	R17	1.4802	10	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 8,482	
11	R18	1.5395	11	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 8,155	
12	R19	1.6010	12	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 7,841	
13	R20	1.6651	13	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 7,540	
14	R21	1.7317	14	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 7,250	
15	R22	1.8009	15	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 6,971	
16	R23	1.8730	16	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 6,703	
17	R24	1.9479	17	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 6,445	
18	R25	2.0258	18	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 6,197	
19	R26	2.1068	19	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 5,959	
20	R27	2.1911	20	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 5,729	
21	R28	2.2788	21	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 5,509	
22	R29	2.3699	22	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 5,297	
23	R30	2.4647	23	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 5,093	
24	R31	2.5633	24	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 4,898	
25	R32	2.6658	25	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 4,709	
26	R33	2.7725	26	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 4,528	
27	R34	2.8834	27	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 4,354	
28	R35	2.9987	28	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 4,186	
29	R36	3.1187	29	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 4,025	
30	R37	3.2434	30	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 3,871	
31	R38	3.3731	31	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 3,722	
32	R39	3.5081	32	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 3,579	
33	R40	3.6484	33	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 3,441	
34	R41	3.7943	34	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 3,309	
35	R42	3.9461	35	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 3,181	
36	R43	4.1039	36	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 3,059	
37	R44	4.2681	37	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,941	
38	R45	4.4388	38	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,828	
39	R46	4.6164	39	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,719	
40	R47	4.8010	40	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,615	
41	R48	4.9931	41	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,514	
42	R49	5.1928	42	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,418	
43	R50	5.4005	43	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,325	
44	R51	5.6165	44	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,235	
45	R52	5.8412	45	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,149	
46	R53	6.0748	46	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 2,067	
47	R54	6.3178	47	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 1,987	
48	R55	6.5705	48	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 1,911	
49	R56	6.8333	49	△ 21,334	8,780	100.0	8,780	△ 12,554	△ 1,837	
合計 (総便益額)									△ 304,685	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	12,706	1,350	0.0	0	12,706	12,217	
2	R9	1.0816	2	12,706	1,350	0.0	0	12,706	11,747	
3	R10	1.1249	3	12,706	1,350	12.0	162	12,868	11,440	
4	R11	1.1699	4	12,706	1,350	29.0	392	13,098	11,196	
5	R12	1.2167	5	12,706	1,350	44.0	594	13,300	10,932	
6	R13	1.2653	6	12,706	1,350	61.0	824	13,530	10,693	
7	R14	1.3159	7	12,706	1,350	84.0	1,134	13,840	10,518	
8	R15	1.3686	8	12,706	1,350	98.0	1,323	14,029	10,251	
9	R16	1.4233	9	12,706	1,350	99.0	1,337	14,043	9,867	
10	R17	1.4802	10	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	9,496	
11	R18	1.5395	11	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	9,130	
12	R19	1.6010	12	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	8,780	
13	R20	1.6651	13	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	8,442	
14	R21	1.7317	14	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	8,117	
15	R22	1.8009	15	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	7,805	
16	R23	1.8730	16	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	7,505	
17	R24	1.9479	17	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	7,216	
18	R25	2.0258	18	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	6,938	
19	R26	2.1068	19	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	6,672	
20	R27	2.1911	20	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	6,415	
21	R28	2.2788	21	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	6,168	
22	R29	2.3699	22	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	5,931	
23	R30	2.4647	23	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	5,702	
24	R31	2.5633	24	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	5,484	
25	R32	2.6658	25	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	5,273	
26	R33	2.7725	26	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	5,070	
27	R34	2.8834	27	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	4,875	
28	R35	2.9987	28	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	4,687	
29	R36	3.1187	29	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	4,507	
30	R37	3.2434	30	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	4,334	
31	R38	3.3731	31	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	4,167	
32	R39	3.5081	32	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	4,007	
33	R40	3.6484	33	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	3,853	
34	R41	3.7943	34	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	3,705	
35	R42	3.9461	35	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	3,562	
36	R43	4.1039	36	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	3,425	
37	R44	4.2681	37	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	3,293	
38	R45	4.4388	38	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	3,167	
39	R46	4.6164	39	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	3,045	
40	R47	4.8010	40	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,928	
41	R48	4.9931	41	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,815	
42	R49	5.1928	42	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,707	
43	R50	5.4005	43	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,603	
44	R51	5.6165	44	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,503	
45	R52	5.8412	45	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,406	
46	R53	6.0748	46	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,314	
47	R54	6.3178	47	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,225	
48	R55	6.5705	48	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,139	
49	R56	6.8333	49	12,706	1,350	100.0	1,350	14,056	2,057	
合計 (総便益額)									294,329	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、ブロッコリー、かんしょ、大豆

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
		ha	ha	ha	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
水稲	新設	96.3	92.7	42.0	単収増 (乾田化)	555	572	17	7.1	-	-	-	
				92.7	単収増 (水管理改良)	555	566	11	10.2	-	-	-	
					小計	-	-	-	17.3	222	3,841	89	3,418
				△ 3.6	作付減	-	-	555	△ 20.0	-	-	-	-
		小計	-	-	-	△ 20.0	222	△ 4,440	-	-			
	更新	96.3	96.3	96.3	単収増 (水管理改良)	233	555	322	310.1	-	-	-	
				小計	-	-	-	310.1	222	68,842	89	61,269	
				水稲計	-	-	-	307.4	-	68,243	-	64,687	
水田計	新設	96.3	92.7							△ 599		3,418	
	更新	96.3	96.3							68,842		61,269	
ブロッコリー	新設	-	6.5	6.5	作付増	-	-	861	56.0	-	-	-	
					小計	-	-	-	56.0	396	22,176	16	3,548
					ブロッコリー計	-	-	-	56.0	-	22,176	-	3,548
かんしょ	新設	-	0.6	0.6	作付増	-	-	1,580	9.5	-	-	-	
					小計	-	-	-	9.5	252	2,394	31	742
					かんしょ計	-	-	-	9.5	-	2,394	-	742
大豆	新設	-	1.3	1.3	作付増	-	-	94	1.2	-	-	-	
					小計	-	-	-	1.2	152	182	-	-
					大豆計	-	-	-	1.2	-	182	-	-
普通畑計	新設	-	8.4							24,752		4,290	
	更新	-	-							-		-	
	新設									24,153		7,708	
	更新									68,842		61,269	
	合計									92,995		68,977	

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
- 「現況作付面積」 ・関係市の作付実績に基づき決定した。
- 「計画作付面積」 ・新設整備では、県、関係市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 :増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
- 「事業なかりせば単収」 ・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- ・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
- 「事業ありせば単収」 ・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
- ・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」 ・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 :農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 :「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、ブロッコリー、かんしょ、大豆

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稻 担い手農家 (区画整理) 未整備乾田→100a乾田	円 2,756,051	円 1,417,782	円 -	円 -	円 1,338,269	ha 1.1	千円 1,472
水稻 担い手農家 (区画整理) 未整備乾田→50a乾田	2,756,051	1,426,766	-	-	1,329,285	41.5	55,165
水稻 担い手農家 (区画整理) 未整備湿田→50a乾田	2,813,072	1,426,766	-	-	1,386,306	7.8	10,813
水稻 個別農家 (区画整理) 未整備湿田→50a乾田	3,122,646	1,819,719	-	-	1,302,927	4.6	5,993
水稻 担い手農家 (区画整理) 未整備乾田→30a乾田	2,756,051	1,438,026	-	-	1,318,025	6.3	8,304
水稻 担い手農家 (区画整理) 未整備湿田→30a乾田	2,813,072	1,438,026	-	-	1,375,046	26.1	35,889
水稻 個別農家 (区画整理) 未整備乾田→30a乾田	3,066,316	1,829,484	-	-	1,236,832	1.9	2,350
水稻 個別農家 (区画整理) 未整備湿田→30a乾田	3,122,646	1,829,484	-	-	1,293,162	3.4	4,397
水稻 担い手農家 (用水改良)乾田	-	-	2,717,822	2,756,051	△38,229	24.1	△921
水稻 担い手農家 (用水改良)湿田	-	-	2,774,843	2,813,072	△38,229	7.7	△294
水稻 個別農家 (用水改良)乾田	-	-	3,008,851	3,066,316	△57,465	30.7	△1,764
水稻 個別農家 (用水改良)湿田	-	-	3,065,181	3,122,646	△57,465	33.8	△1,942
ブロッコリー【50a】 担い手 (区画整理)畑	2,472,478	1,982,943	-	-	489,535	2.3	1,126

ブロッコリー【30a】 担い手 (区画整理)畑	2,472,478	1,992,780	-	-	479,698	4.0	1,919	
ブロッコリー【30a】 個別農家 (区画整理)畑	3,040,840	2,182,796	-	-	858,044	0.2	172	
かんしょ【30a】 担い手 (区画整理)畑	2,018,694	1,475,805	-	-	542,889	0.6	326	
大豆【30a】 担い手 (区画整理)畑	2,190,294	1,025,567	-	-	1,164,727	1.3	1,514	
新 設								129,440
更 新								△4,921
合 計								124,519

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、福島県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、福島県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

頭首工、堰、用水路、排水路、農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		28,222	19,442	8,780
更新整備		6,888	28,222	△ 21,334
合計				△ 12,554

- ・事業なかりせば維持管理費 ：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費 ：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費 ：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、ブロッコリー、かんしょ、大豆

○効果算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額（原単位）} \\ + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額（原単位）}$$

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 （千kcal） ②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤=①×③ +②×④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	24,153	16,814	49	9.9	1,350
更新整備	68,842	942,704	49	9.9	12,706
合計	92,995	959,518			14,056

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、福島県農林水産部調べ

【便益】

- ・ 東北農政局統計部（令和2年～5年）「第67～70次東北農林水産統計年報」東北農政局統計部
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、福島県農林水産部調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 茨城県)(地区名: 観音川北部)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))
 (都道府県名:茨城県)(地区名:観音川北部)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	—	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮	—	○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,760	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	94.6	A
			①担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg	2,375	A
			②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	割	6	
	産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	皆増	A	
		②高収益作物の作付面積の増加率	%	皆増		
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	91.9	A
			担い手への面的集積率	%	98.2	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	111.3	A
	②作付率の増加ポイント	%	32.8			
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,812	A
農業の高付加価値化		①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組	—	—	B	
		②地域活性化に係る話し合い	—	○		
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮	—	a	A	
		②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組	—	a		
		③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	—		

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	B	B
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	○	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	○ ○	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	89.5	A

観音川北部地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,085,625
当該事業による費用	②	749,151
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	336,474
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	47年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	1,290,456
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.18

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業に よる費用	関連事業 による費用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
当 該 事 業	区画整理	-	749,151	-	179,306	81,742	846,715
	計	-	749,151	-	179,306	81,742	846,715
そ の 他	用水路工等	64,104	-	-	214,674	39,868	238,910
	計	64,104	-	-	214,674	39,868	238,910
合 計		64,104	749,151	-	393,980	121,610	1,085,625

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		22,778	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		45,505	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 1,497	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		5,183	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		71,969	

(4) 総便益額算出表－1

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) [†] ①	経過 年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	16,671	6,107	0.0	0	16,671	16,030	
2	R9	1.0816	2	16,671	6,107	2.9	177	16,848	15,577	
3	R10	1.1249	3	16,671	6,107	14.1	861	17,532	15,585	
4	R11	1.1699	4	16,671	6,107	26.7	1,631	18,302	15,644	
5	R12	1.2167	5	16,671	6,107	41.7	2,547	19,218	15,795	
6	R13	1.2653	6	16,671	6,107	78.7	4,806	21,477	16,974	
7	R14	1.3159	7	16,671	6,107	92.3	5,637	22,308	16,953	
8	R15	1.3686	8	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	16,643	
9	R16	1.4233	9	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	16,004	
10	R17	1.4802	10	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	15,388	
11	R18	1.5395	11	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	14,796	
12	R19	1.6010	12	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	14,227	
13	R20	1.6651	13	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	13,680	
14	R21	1.7317	14	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	13,154	
15	R22	1.8009	15	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	12,648	
16	R23	1.8730	16	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	12,161	
17	R24	1.9479	17	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	11,694	
18	R25	2.0258	18	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	11,244	
19	R26	2.1068	19	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	10,812	
20	R27	2.1911	20	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	10,396	
21	R28	2.2788	21	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	9,996	
22	R29	2.3699	22	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	9,611	
23	R30	2.4647	23	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	9,242	
24	R31	2.5633	24	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	8,886	
25	R32	2.6658	25	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	8,545	
26	R33	2.7725	26	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	8,216	
27	R34	2.8834	27	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	7,900	
28	R35	2.9987	28	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	7,596	
29	R36	3.1187	29	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	7,304	
30	R37	3.2434	30	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	7,023	
31	R38	3.3731	31	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	6,753	
32	R39	3.5081	32	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	6,493	
33	R40	3.6484	33	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	6,243	
34	R41	3.7943	34	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	6,003	
35	R42	3.9461	35	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	5,772	
36	R43	4.1039	36	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	5,550	
37	R44	4.2681	37	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	5,337	
38	R45	4.4388	38	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	5,132	
39	R46	4.6164	39	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	4,934	
40	R47	4.8010	40	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	4,744	
41	R48	4.9931	41	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	4,562	
42	R49	5.1928	42	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	4,386	
43	R50	5.4005	43	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	4,218	
44	R51	5.6165	44	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	4,056	
45	R52	5.8412	45	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	3,900	
46	R53	6.0748	46	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	3,750	
47	R54	6.3178	47	16,671	6,107	100.0	6,107	22,778	3,605	
合計 (総便益額)									455,162	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) [†] ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	
				1	R8	1.0400	1	△ 2,110	47,615	
2	R9	1.0816	2	△ 2,110	47,615	2.9	1,381	△ 729	△ 674	
3	R10	1.1249	3	△ 2,110	47,615	14.1	6,714	4,604	4,093	
4	R11	1.1699	4	△ 2,110	47,615	26.7	12,713	10,603	9,063	
5	R12	1.2167	5	△ 2,110	47,615	41.7	19,855	17,745	14,585	
6	R13	1.2653	6	△ 2,110	47,615	78.7	37,473	35,363	27,948	
7	R14	1.3159	7	△ 2,110	47,615	92.3	43,949	41,839	31,795	
8	R15	1.3686	8	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	33,249	
9	R16	1.4233	9	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	31,971	
10	R17	1.4802	10	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	30,742	
11	R18	1.5395	11	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	29,558	
12	R19	1.6010	12	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	28,423	
13	R20	1.6651	13	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	27,329	
14	R21	1.7317	14	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	26,278	
15	R22	1.8009	15	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	25,268	
16	R23	1.8730	16	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	24,295	
17	R24	1.9479	17	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	23,361	
18	R25	2.0258	18	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	22,463	
19	R26	2.1068	19	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	21,599	
20	R27	2.1911	20	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	20,768	
21	R28	2.2788	21	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	19,969	
22	R29	2.3699	22	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	19,201	
23	R30	2.4647	23	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	18,463	
24	R31	2.5633	24	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	17,753	
25	R32	2.6658	25	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	17,070	
26	R33	2.7725	26	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	16,413	
27	R34	2.8834	27	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	15,782	
28	R35	2.9987	28	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	15,175	
29	R36	3.1187	29	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	14,591	
30	R37	3.2434	30	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	14,030	
31	R38	3.3731	31	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	13,491	
32	R39	3.5081	32	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	12,971	
33	R40	3.6484	33	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	12,473	
34	R41	3.7943	34	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	11,993	
35	R42	3.9461	35	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	11,532	
36	R43	4.1039	36	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	11,088	
37	R44	4.2681	37	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	10,662	
38	R45	4.4388	38	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	10,252	
39	R46	4.6164	39	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	9,857	
40	R47	4.8010	40	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	9,478	
41	R48	4.9931	41	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	9,114	
42	R49	5.1928	42	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	8,763	
43	R50	5.4005	43	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	8,426	
44	R51	5.6165	44	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	8,102	
45	R52	5.8412	45	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	7,790	
46	R53	6.0748	46	△ 2,110	47,615	100.0	47,615	45,505	7,491	
47	R54	6.3178	47	△ 2,110	47,615	100	47,615.0	45,505	7,203	
合計 (総便益額)									769,218	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) [†] ①	経過 年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 2,598	1,101	0.0	0	△ 2,598	△ 2,498	
2	R9	1.0816	2	△ 2,598	1,101	2.9	32	△ 2,566	△ 2,372	
3	R10	1.1249	3	△ 2,598	1,101	14.1	155	△ 2,443	△ 2,172	
4	R11	1.1699	4	△ 2,598	1,101	26.7	294	△ 2,304	△ 1,969	
5	R12	1.2167	5	△ 2,598	1,101	41.7	459	△ 2,139	△ 1,758	
6	R13	1.2653	6	△ 2,598	1,101	78.7	866	△ 1,732	△ 1,369	
7	R14	1.3159	7	△ 2,598	1,101	92.3	1,016	△ 1,582	△ 1,202	
8	R15	1.3686	8	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 1,094	
9	R16	1.4233	9	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 1,052	
10	R17	1.4802	10	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 1,011	
11	R18	1.5395	11	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 972	
12	R19	1.6010	12	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 935	
13	R20	1.6651	13	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 899	
14	R21	1.7317	14	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 864	
15	R22	1.8009	15	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 831	
16	R23	1.8730	16	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 799	
17	R24	1.9479	17	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 769	
18	R25	2.0258	18	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 739	
19	R26	2.1068	19	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 711	
20	R27	2.1911	20	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 683	
21	R28	2.2788	21	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 657	
22	R29	2.3699	22	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 632	
23	R30	2.4647	23	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 607	
24	R31	2.5633	24	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 584	
25	R32	2.6658	25	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 562	
26	R33	2.7725	26	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 540	
27	R34	2.8834	27	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 519	
28	R35	2.9987	28	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 499	
29	R36	3.1187	29	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 480	
30	R37	3.2434	30	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 462	
31	R38	3.3731	31	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 444	
32	R39	3.5081	32	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 427	
33	R40	3.6484	33	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 410	
34	R41	3.7943	34	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 395	
35	R42	3.9461	35	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 379	
36	R43	4.1039	36	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 365	
37	R44	4.2681	37	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 351	
38	R45	4.4388	38	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 337	
39	R46	4.6164	39	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 324	
40	R47	4.8010	40	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 312	
41	R48	4.9931	41	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 300	
42	R49	5.1928	42	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 288	
43	R50	5.4005	43	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 277	
44	R51	5.6165	44	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 267	
45	R52	5.8412	45	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 256	
46	R53	6.0748	46	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 246	
47	R54	6.3178	47	△ 2,598	1,101	100.0	1,101	△ 1,497	△ 237	
合計 (総便益額)									△ 35,856	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－4

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) [†] ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果		計		左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④		
1	R8	1.0400	1	3,380	1,803	0.0	0	3,380	3,250	
2	R9	1.0816	2	3,380	1,803	2.9	52	3,432	3,173	
3	R10	1.1249	3	3,380	1,803	14.1	254	3,634	3,231	
4	R11	1.1699	4	3,380	1,803	26.7	481	3,861	3,300	
5	R12	1.2167	5	3,380	1,803	41.7	752	4,132	3,396	
6	R13	1.2653	6	3,380	1,803	78.7	1,419	4,799	3,793	
7	R14	1.3159	7	3,380	1,803	92.3	1,664	5,044	3,833	
8	R15	1.3686	8	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	3,787	
9	R16	1.4233	9	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	3,642	
10	R17	1.4802	10	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	3,502	
11	R18	1.5395	11	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	3,367	
12	R19	1.6010	12	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	3,237	
13	R20	1.6651	13	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	3,113	
14	R21	1.7317	14	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,993	
15	R22	1.8009	15	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,878	
16	R23	1.8730	16	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,767	
17	R24	1.9479	17	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,661	
18	R25	2.0258	18	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,558	
19	R26	2.1068	19	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,460	
20	R27	2.1911	20	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,365	
21	R28	2.2788	21	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,274	
22	R29	2.3699	22	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,187	
23	R30	2.4647	23	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,103	
24	R31	2.5633	24	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	2,022	
25	R32	2.6658	25	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,944	
26	R33	2.7725	26	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,869	
27	R34	2.8834	27	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,798	
28	R35	2.9987	28	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,728	
29	R36	3.1187	29	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,662	
30	R37	3.2434	30	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,598	
31	R38	3.3731	31	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,537	
32	R39	3.5081	32	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,477	
33	R40	3.6484	33	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,421	
34	R41	3.7943	34	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,366	
35	R42	3.9461	35	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,313	
36	R43	4.1039	36	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,263	
37	R44	4.2681	37	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,214	
38	R45	4.4388	38	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,168	
39	R46	4.6164	39	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,123	
40	R47	4.8010	40	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,080	
41	R48	4.9931	41	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	1,038	
42	R49	5.1928	42	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	998	
43	R50	5.4005	43	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	960	
44	R51	5.6165	44	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	923	
45	R52	5.8412	45	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	887	
46	R53	6.0748	46	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	853	
47	R54	6.3178	47	3,380	1,803	100.0	1,803	5,183	820	
合計 (総便益額)									101,932	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大豆、小麦、かぼちゃ、キャベツ、たまねぎ、ねぎ

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稻	新設	18.8	18.3	18.3	単収増 (水管理改良)	544	555	11	2.0	229	-	-	-
					小計	-	-	-	2.0	229	458	89	408
				△0.5	作付減	-	-	544	△2.7	-	-	-	-
	更新	18.8	18.8	18.8	単収増 (水管理改良)	109	544	435	81.8	229	-	-	-
					小計	-	-	-	81.8	229	18,732	89	16,671
					水稻計	-	-	-	81.1	-	18,572	-	17,079
大豆	新設	0.5	0.7	0.2	作付増	-	-	131	0.3	148	44	-	-
					小計	-	-	-	0.3	148	44	-	-
					大豆計	-	-	-	0.3	148	44	-	-
小麦	新設	0.5	0.7	0.2	作付増	-	-	339	0.7	38	27	-	-
					小計	-	-	-	0.7	38	27	-	-
					小麦計	-	-	-	0.7	38	27	-	-
かぼちゃ	新設	-	2.2	2.2	作付増	-	-	1,550	34.1	319	10,878	17	1,849
					小計	-	-	-	34.1	319	10,878	17	1,849
					かぼちゃ計	-	-	-	34.1	319	10,878	17	1,849
水田計	新設	19.8	21.9							10,789		2,257	
	更新	18.8	18.8							-		16,671	
キャベツ	新設	0.4	-	△0.4	作付減	-	-	4,360	△17.4	62	△1,079	16	△173
					小計	-	-	-	△17.4	62	△1,079	16	△173
					キャベツ計	-	-	-	△17.4	62	△1,079	16	△173
たまねぎ	新設	0.3	-	△0.3	作付減	-	-	3,270	△9.8	104	△1,019	16	△163
					小計	-	-	-	△9.8	104	△1,019	16	△163
					たまねぎ計	-	-	-	△9.8	104	△1,019	16	△163
かぼちゃ	新設	-	3.8	3.8	作付増	-	-	1,550	58.9	319	18,789	17	3,194
					小計	-	-	-	58.9	319	18,789	17	3,194
					かぼちゃ計	-	-	-	58.9	319	18,789	17	3,194
ねぎ	新設	-	0.8	0.8	作付増	-	-	2,300	18.4	337	6,201	16	992
					小計	-	-	-	18.4	337	6,201	16	992
					ねぎ計	-	-	-	18.4	337	6,201	16	992
普通畑計	新設	0.7	4.6							22,892		3,850	
	更新	-	-							-		-	
新設										33,681		6,107	
更新										18,732		16,671	
合計										52,413		22,778	

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
- 「現況作付面積」・関係市の作付実績に基づき決定した。
- 「計画作付面積」・新設整備では、市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 :増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
- 「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
- 「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 :農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 :「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、大豆、小麦、かぼちゃ、ねぎ

○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当たり営農経費－事業ありせば単位面積当たり営農経費）×効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果 発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稲 (区画整理)	円 2,235,586	円 1,066,199	円 -	円 -	円 1,169,387	ha 18.3	千円 21,400
水稲 (用水改良)	-	-	2,235,586	2,350,901	△115,315	18.3	△2,110
大豆 (区画整理)	1,593,318	693,966	-	-	899,352	0.7	630
小麦 (区画整理)	1,227,951	672,025	-	-	555,926	0.7	389
かぼちゃ (区画整理)	6,321,336	2,211,912	-	-	4,109,424	6.0	24,657
ねぎ (区画整理)	7,233,955	6,560,638	-	-	673,317	0.8	539
新 設							47,615
更 新							△2,110
合 計							45,505

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費：地域の営農経費であり、茨城県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費：想定される事業により増減した地域の営農経費であり、茨城県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

揚水機場、用水路、排水路、調整池、農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		4,199	3,098	1,101
更新整備		1,601	4,199	△ 2,598
合計				△ 1,497

- ・事業なかりせば維持管理費 : 現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費 : 現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費 : 現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay : 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method : 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大豆、小麦、かぼちゃ、キャベツ、たまねぎ、ねぎ

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額 (原単位)
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額 (原単位)

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	33,681	15,459	49	9.9	1,803
更新整備	18,732	248,672	49	9.9	3,380
合計	52,413	264,131			5,183

- ・ 増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・ 単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、茨城県農林水産部農地局農村計画課調べ

【便益】

- ・ 関東農政局統計部（令和元年～令和5年）「関東農林水産統計年報」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、茨城県農林水産部農地局農村計画課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 栃木県)(地区名: 轟)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 栃木県)(地区名: 轟)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	—	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮	—	○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,603	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	88.0	A
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	4,052 7	B
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	2,468.0	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	1,180.0	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	90.7	A
			担い手への面的集積率	%	98.7	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	100.0 0.9	B
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,455	A
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	○ ○	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	○	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	○ ○	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	89.5	A

轟地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,376,555
当該事業による費用	②	1,117,254
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	259,301
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	1,573,385
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.14

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業 による費 用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	-	1,052,034	-	254,654	88,725	1,217,963
	農業用排水施設整備	-	65,220	-	19,659	6,059	78,820
	計	-	1,117,254	-	274,313	94,784	1,296,783
そ の 他	頭首工等	11,379	-	-	75,286	6,893	79,772
	計	11,379	-	-	75,286	6,893	79,772
合 計		11,379	1,117,254	-	349,599	101,677	1,376,555

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		20,471	農業用排水施設整備、区画整理及び暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		51,560	農業用排水施設整備、区画整理及び暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 2,938	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果			
耕作放棄防止効果		2	区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産が維持される効果
農業労働環境改善効果		5,370	区画整理を実施したことにより、営農に係る労働が質的（労働強度の改善、精神的疲労の改善）に改善される効果
農村の振興に関する効果			
地籍確定効果		1,302	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が節減する効果
非農用地等創設効果		219	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での公共用地等の用地調達経費が節減する効果
多面的機能の発揮に関する効果			
景観・環境保全効果		570	区画整理にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
その他の効果			
水田貯留機能向上効果		8,731	水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での当該地域や下流域の洪水被害が防止又は軽減される効果
国産農産物安定供給効果		4,245	農業用排水施設整備及び区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		89,532	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果額 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	14,872	5,599	0.0	0	14,872	14,300	
2	R9	1.0816	2	14,872	5,599	0.0	0	14,872	13,750	
3	R10	1.1249	3	14,872	5,599	0.0	0	14,872	13,221	
4	R11	1.1699	4	14,872	5,599	25.7	1,439	16,311	13,942	
5	R12	1.2167	5	14,872	5,599	43.6	2,441	17,313	14,229	
6	R13	1.2653	6	14,872	5,599	61.4	3,438	18,310	14,471	
7	R14	1.3159	7	14,872	5,599	90.2	5,050	19,922	15,139	
8	R15	1.3686	8	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	14,958	
9	R16	1.4233	9	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	14,383	
10	R17	1.4802	10	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	13,830	
11	R18	1.5395	11	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	13,297	
12	R19	1.6010	12	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	12,786	
13	R20	1.6651	13	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	12,294	
14	R21	1.7317	14	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	11,821	
15	R22	1.8009	15	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	11,367	
16	R23	1.8730	16	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	10,930	
17	R24	1.9479	17	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	10,509	
18	R25	2.0258	18	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	10,105	
19	R26	2.1068	19	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	9,717	
20	R27	2.1911	20	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	9,343	
21	R28	2.2788	21	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	8,983	
22	R29	2.3699	22	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	8,638	
23	R30	2.4647	23	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	8,306	
24	R31	2.5633	24	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	7,986	
25	R32	2.6658	25	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	7,679	
26	R33	2.7725	26	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	7,384	
27	R34	2.8834	27	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	7,100	
28	R35	2.9987	28	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	6,827	
29	R36	3.1187	29	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	6,564	
30	R37	3.2434	30	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	6,312	
31	R38	3.3731	31	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	6,069	
32	R39	3.5081	32	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	5,835	
33	R40	3.6484	33	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	5,611	
34	R41	3.7943	34	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	5,395	
35	R42	3.9461	35	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	5,188	
36	R43	4.1039	36	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	4,988	
37	R44	4.2681	37	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	4,796	
38	R45	4.4388	38	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	4,612	
39	R46	4.6164	39	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	4,434	
40	R47	4.8010	40	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	4,264	
41	R48	4.9931	41	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	4,100	
42	R49	5.1928	42	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	3,942	
43	R50	5.4005	43	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	3,791	
44	R51	5.6165	44	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	3,645	
45	R52	5.8412	45	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	3,505	
46	R53	6.0748	46	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	3,370	
47	R54	6.3178	47	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	3,240	
48	R55	6.5705	48	14,872	5,599	100.0	5,599	20,471	3,116	
合計（総便益額）									410,072	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果額 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 1,639	53,199	0.0	0	△ 1,639	△ 1,576	
2	R9	1.0816	2	△ 1,639	53,199	0.0	0	△ 1,639	△ 1,515	
3	R10	1.1249	3	△ 1,639	53,199	0.0	0	△ 1,639	△ 1,457	
4	R11	1.1699	4	△ 1,639	53,199	25.7	13,672	12,033	10,285	
5	R12	1.2167	5	△ 1,639	53,199	43.6	23,195	21,556	17,717	
6	R13	1.2653	6	△ 1,639	53,199	61.4	32,664	31,025	24,520	
7	R14	1.3159	7	△ 1,639	53,199	90.2	47,985	46,346	35,220	
8	R15	1.3686	8	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	37,674	
9	R16	1.4233	9	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	36,226	
10	R17	1.4802	10	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	34,833	
11	R18	1.5395	11	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	33,491	
12	R19	1.6010	12	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	32,205	
13	R20	1.6651	13	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	30,965	
14	R21	1.7317	14	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	29,774	
15	R22	1.8009	15	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	28,630	
16	R23	1.8730	16	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	27,528	
17	R24	1.9479	17	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	26,470	
18	R25	2.0258	18	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	25,452	
19	R26	2.1068	19	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	24,473	
20	R27	2.1911	20	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	23,532	
21	R28	2.2788	21	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	22,626	
22	R29	2.3699	22	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	21,756	
23	R30	2.4647	23	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	20,919	
24	R31	2.5633	24	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	20,115	
25	R32	2.6658	25	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	19,341	
26	R33	2.7725	26	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	18,597	
27	R34	2.8834	27	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	17,882	
28	R35	2.9987	28	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	17,194	
29	R36	3.1187	29	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	16,533	
30	R37	3.2434	30	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	15,897	
31	R38	3.3731	31	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	15,286	
32	R39	3.5081	32	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	14,697	
33	R40	3.6484	33	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	14,132	
34	R41	3.7943	34	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	13,589	
35	R42	3.9461	35	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	13,066	
36	R43	4.1039	36	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	12,564	
37	R44	4.2681	37	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	12,080	
38	R45	4.4388	38	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	11,616	
39	R46	4.6164	39	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	11,169	
40	R47	4.8010	40	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	10,739	
41	R48	4.9931	41	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	10,326	
42	R49	5.1928	42	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	9,929	
43	R50	5.4005	43	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	9,547	
44	R51	5.6165	44	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	9,180	
45	R52	5.8412	45	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	8,827	
46	R53	6.0748	46	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	8,488	
47	R54	6.3178	47	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	8,161	
48	R55	6.5705	48	△ 1,639	53,199	100.0	53,199	51,560	7,847	
合計(総便益額)									866,550	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 2,300	△ 638	0.0	0	△ 2,300	△ 2,212	
2	R9	1.0816	2	△ 2,300	△ 638	0.0	0	△ 2,300	△ 2,126	
3	R10	1.1249	3	△ 2,300	△ 638	0.0	0	△ 2,300	△ 2,045	
4	R11	1.1699	4	△ 2,300	△ 638	25.7	△ 164	△ 2,464	△ 2,106	
5	R12	1.2167	5	△ 2,300	△ 638	43.6	△ 278	△ 2,578	△ 2,119	
6	R13	1.2653	6	△ 2,300	△ 638	61.4	△ 392	△ 2,692	△ 2,128	
7	R14	1.3159	7	△ 2,300	△ 638	90.2	△ 575	△ 2,875	△ 2,185	
8	R15	1.3686	8	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 2,147	
9	R16	1.4233	9	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 2,064	
10	R17	1.4802	10	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,985	
11	R18	1.5395	11	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,908	
12	R19	1.6010	12	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,835	
13	R20	1.6651	13	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,764	
14	R21	1.7317	14	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,697	
15	R22	1.8009	15	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,631	
16	R23	1.8730	16	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,569	
17	R24	1.9479	17	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,508	
18	R25	2.0258	18	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,450	
19	R26	2.1068	19	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,395	
20	R27	2.1911	20	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,341	
21	R28	2.2788	21	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,289	
22	R29	2.3699	22	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,240	
23	R30	2.4647	23	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,192	
24	R31	2.5633	24	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,146	
25	R32	2.6658	25	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,102	
26	R33	2.7725	26	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,060	
27	R34	2.8834	27	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 1,019	
28	R35	2.9987	28	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 980	
29	R36	3.1187	29	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 942	
30	R37	3.2434	30	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 906	
31	R38	3.3731	31	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 871	
32	R39	3.5081	32	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 837	
33	R40	3.6484	33	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 805	
34	R41	3.7943	34	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 774	
35	R42	3.9461	35	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 745	
36	R43	4.1039	36	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 716	
37	R44	4.2681	37	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 688	
38	R45	4.4388	38	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 662	
39	R46	4.6164	39	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 636	
40	R47	4.8010	40	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 612	
41	R48	4.9931	41	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 588	
42	R49	5.1928	42	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 566	
43	R50	5.4005	43	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 544	
44	R51	5.6165	44	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 523	
45	R52	5.8412	45	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 503	
46	R53	6.0748	46	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 484	
47	R54	6.3178	47	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 465	
48	R55	6.5705	48	△ 2,300	△ 638	100.0	△ 638	△ 2,938	△ 447	
合計(総便益額)									△ 59,557	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表 - 4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	耕作放棄防止効果							備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計			
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	2	0.0	0	0	0		
2	R9	1.0816	2	-	2	0.0	0	0	0		
3	R10	1.1249	3	-	2	0.0	0	0	0		
4	R11	1.1699	4	-	2	25.7	1	1	1		
5	R12	1.2167	5	-	2	43.6	1	1	1		
6	R13	1.2653	6	-	2	61.4	1	1	1		
7	R14	1.3159	7	-	2	90.2	2	2	2		
8	R15	1.3686	8	-	2	100.0	2	2	1		
9	R16	1.4233	9	-	2	100.0	2	2	1		
10	R17	1.4802	10	-	2	100.0	2	2	1		
11	R18	1.5395	11	-	2	100.0	2	2	1		
12	R19	1.6010	12	-	2	100.0	2	2	1		
13	R20	1.6651	13	-	2	100.0	2	2	1		
14	R21	1.7317	14	-	2	100.0	2	2	1		
15	R22	1.8009	15	-	2	100.0	2	2	1		
16	R23	1.8730	16	-	2	100.0	2	2	1		
17	R24	1.9479	17	-	2	100.0	2	2	1		
18	R25	2.0258	18	-	2	100.0	2	2	1		
19	R26	2.1068	19	-	2	100.0	2	2	1		
20	R27	2.1911	20	-	2	100.0	2	2	1		
21	R28	2.2788	21	-	2	100.0	2	2	1		
22	R29	2.3699	22	-	2	100.0	2	2	1		
23	R30	2.4647	23	-	2	100.0	2	2	1		
24	R31	2.5633	24	-	2	100.0	2	2	1		
25	R32	2.6658	25	-	2	100.0	2	2	1		
26	R33	2.7725	26	-	2	100.0	2	2	1		
27	R34	2.8834	27	-	2	100.0	2	2	1		
28	R35	2.9987	28	-	2	100.0	2	2	1		
29	R36	3.1187	29	-	2	100.0	2	2	1		
30	R37	3.2434	30	-	2	100.0	2	2	1		
31	R38	3.3731	31	-	2	100.0	2	2	1		
32	R39	3.5081	32	-	2	100.0	2	2	1		
33	R40	3.6484	33	-	2	100.0	2	2	1		
34	R41	3.7943	34	-	2	100.0	2	2	1		
35	R42	3.9461	35	-	2	100.0	2	2	1		
36	R43	4.1039	36	-	2	100.0	2	2	0		
37	R44	4.2681	37	-	2	100.0	2	2	0		
38	R45	4.4388	38	-	2	100.0	2	2	0		
39	R46	4.6164	39	-	2	100.0	2	2	0		
40	R47	4.8010	40	-	2	100.0	2	2	0		
41	R48	4.9931	41	-	2	100.0	2	2	0		
42	R49	5.1928	42	-	2	100.0	2	2	0		
43	R50	5.4005	43	-	2	100.0	2	2	0		
44	R51	5.6165	44	-	2	100.0	2	2	0		
45	R52	5.8412	45	-	2	100.0	2	2	0		
46	R53	6.0748	46	-	2	100.0	2	2	0		
47	R54	6.3178	47	-	2	100.0	2	2	0		
48	R55	6.5705	48	-	2	100.0	2	2	0		
合計 (総便益額)										33	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	農業労働環境改善効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	5,370	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	5,370	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	5,370	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	5,370	25.7	1,380	1,380	1,180	
5	R12	1.2167	5	-	5,370	43.6	2,341	2,341	1,924	
6	R13	1.2653	6	-	5,370	61.4	3,297	3,297	2,606	
7	R14	1.3159	7	-	5,370	90.2	4,844	4,844	3,681	
8	R15	1.3686	8	-	5,370	100.0	5,370	5,370	3,924	
9	R16	1.4233	9	-	5,370	100.0	5,370	5,370	3,773	
10	R17	1.4802	10	-	5,370	100.0	5,370	5,370	3,628	
11	R18	1.5395	11	-	5,370	100.0	5,370	5,370	3,488	
12	R19	1.6010	12	-	5,370	100.0	5,370	5,370	3,354	
13	R20	1.6651	13	-	5,370	100.0	5,370	5,370	3,225	
14	R21	1.7317	14	-	5,370	100.0	5,370	5,370	3,101	
15	R22	1.8009	15	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,982	
16	R23	1.8730	16	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,867	
17	R24	1.9479	17	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,757	
18	R25	2.0258	18	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,651	
19	R26	2.1068	19	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,549	
20	R27	2.1911	20	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,451	
21	R28	2.2788	21	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,357	
22	R29	2.3699	22	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,266	
23	R30	2.4647	23	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,179	
24	R31	2.5633	24	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,095	
25	R32	2.6658	25	-	5,370	100.0	5,370	5,370	2,014	
26	R33	2.7725	26	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,937	
27	R34	2.8834	27	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,862	
28	R35	2.9987	28	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,791	
29	R36	3.1187	29	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,722	
30	R37	3.2434	30	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,656	
31	R38	3.3731	31	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,592	
32	R39	3.5081	32	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,531	
33	R40	3.6484	33	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,472	
34	R41	3.7943	34	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,415	
35	R42	3.9461	35	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,361	
36	R43	4.1039	36	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,309	
37	R44	4.2681	37	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,258	
38	R45	4.4388	38	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,210	
39	R46	4.6164	39	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,163	
40	R47	4.8010	40	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,119	
41	R48	4.9931	41	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,075	
42	R49	5.1928	42	-	5,370	100.0	5,370	5,370	1,034	
43	R50	5.4005	43	-	5,370	100.0	5,370	5,370	994	
44	R51	5.6165	44	-	5,370	100.0	5,370	5,370	956	
45	R52	5.8412	45	-	5,370	100.0	5,370	5,370	919	
46	R53	6.0748	46	-	5,370	100.0	5,370	5,370	884	
47	R54	6.3178	47	-	5,370	100.0	5,370	5,370	850	
48	R55	6.5705	48	-	5,370	100.0	5,370	5,370	817	
合計（総便益額）									90,979	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－6

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	地籍確定効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	1,302	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	1,302	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	1,302	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	1,302	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	1,302	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	1,302	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	1,302	0.0	0	0	0	
8	R15	1.3686	8	-	1,302	0.0	0	0	0	
9	R16	1.4233	9	-	1,302	100.0	1,302	1,302	915	
10	R17	1.4802	10	-	1,302	100.0	1,302	1,302	880	
11	R18	1.5395	11	-	1,302	100.0	1,302	1,302	846	
12	R19	1.6010	12	-	1,302	100.0	1,302	1,302	813	
13	R20	1.6651	13	-	1,302	100.0	1,302	1,302	782	
14	R21	1.7317	14	-	1,302	100.0	1,302	1,302	752	
15	R22	1.8009	15	-	1,302	100.0	1,302	1,302	723	
16	R23	1.8730	16	-	1,302	100.0	1,302	1,302	695	
17	R24	1.9479	17	-	1,302	100.0	1,302	1,302	668	
18	R25	2.0258	18	-	1,302	100.0	1,302	1,302	643	
19	R26	2.1068	19	-	1,302	100.0	1,302	1,302	618	
20	R27	2.1911	20	-	1,302	100.0	1,302	1,302	594	
21	R28	2.2788	21	-	1,302	100.0	1,302	1,302	571	
22	R29	2.3699	22	-	1,302	100.0	1,302	1,302	549	
23	R30	2.4647	23	-	1,302	100.0	1,302	1,302	528	
24	R31	2.5633	24	-	1,302	100.0	1,302	1,302	508	
25	R32	2.6658	25	-	1,302	100.0	1,302	1,302	488	
26	R33	2.7725	26	-	1,302	100.0	1,302	1,302	470	
27	R34	2.8834	27	-	1,302	100.0	1,302	1,302	452	
28	R35	2.9987	28	-	1,302	100.0	1,302	1,302	434	
29	R36	3.1187	29	-	1,302	100.0	1,302	1,302	417	
30	R37	3.2434	30	-	1,302	100.0	1,302	1,302	401	
31	R38	3.3731	31	-	1,302	100.0	1,302	1,302	386	
32	R39	3.5081	32	-	1,302	100.0	1,302	1,302	371	
33	R40	3.6484	33	-	1,302	100.0	1,302	1,302	357	
34	R41	3.7943	34	-	1,302	100.0	1,302	1,302	343	
35	R42	3.9461	35	-	1,302	100.0	1,302	1,302	330	
36	R43	4.1039	36	-	1,302	100.0	1,302	1,302	317	
37	R44	4.2681	37	-	1,302	100.0	1,302	1,302	305	
38	R45	4.4388	38	-	1,302	100.0	1,302	1,302	293	
39	R46	4.6164	39	-	1,302	100.0	1,302	1,302	282	
40	R47	4.8010	40	-	1,302	100.0	1,302	1,302	271	
41	R48	4.9931	41	-	1,302	100.0	1,302	1,302	261	
42	R49	5.1928	42	-	1,302	100.0	1,302	1,302	251	
43	R50	5.4005	43	-	1,302	100.0	1,302	1,302	241	
44	R51	5.6165	44	-	1,302	100.0	1,302	1,302	232	
45	R52	5.8412	45	-	1,302	100.0	1,302	1,302	223	
46	R53	6.0748	46	-	1,302	100.0	1,302	1,302	214	
47	R54	6.3178	47	-	1,302	100.0	1,302	1,302	206	
48	R55	6.5705	48	-	1,302	100.0	1,302	1,302	198	
合計(総便益額)									18,828	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-7

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	非農用地等創設効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	219	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	219	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	219	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	219	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	219	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	219	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	219	100.0	219	219	166	
8	R15	1.3686	8	-	219	100.0	219	219	160	
9	R16	1.4233	9	-	219	100.0	219	219	154	
10	R17	1.4802	10	-	219	100.0	219	219	148	
11	R18	1.5395	11	-	219	100.0	219	219	142	
12	R19	1.6010	12	-	219	100.0	219	219	137	
13	R20	1.6651	13	-	219	100.0	219	219	132	
14	R21	1.7317	14	-	219	100.0	219	219	126	
15	R22	1.8009	15	-	219	100.0	219	219	122	
16	R23	1.8730	16	-	219	100.0	219	219	117	
17	R24	1.9479	17	-	219	100.0	219	219	112	
18	R25	2.0258	18	-	219	100.0	219	219	108	
19	R26	2.1068	19	-	219	100.0	219	219	104	
20	R27	2.1911	20	-	219	100.0	219	219	100	
21	R28	2.2788	21	-	219	100.0	219	219	96	
22	R29	2.3699	22	-	219	100.0	219	219	92	
23	R30	2.4647	23	-	219	100.0	219	219	89	
24	R31	2.5633	24	-	219	100.0	219	219	85	
25	R32	2.6658	25	-	219	100.0	219	219	82	
26	R33	2.7725	26	-	219	100.0	219	219	79	
27	R34	2.8834	27	-	219	100.0	219	219	76	
28	R35	2.9987	28	-	219	100.0	219	219	73	
29	R36	3.1187	29	-	219	100.0	219	219	70	
30	R37	3.2434	30	-	219	100.0	219	219	68	
31	R38	3.3731	31	-	219	100.0	219	219	65	
32	R39	3.5081	32	-	219	100.0	219	219	62	
33	R40	3.6484	33	-	219	100.0	219	219	60	
34	R41	3.7943	34	-	219	100.0	219	219	58	
35	R42	3.9461	35	-	219	100.0	219	219	55	
36	R43	4.1039	36	-	219	100.0	219	219	53	
37	R44	4.2681	37	-	219	100.0	219	219	51	
38	R45	4.4388	38	-	219	100.0	219	219	49	
39	R46	4.6164	39	-	219	100.0	219	219	47	
40	R47	4.8010	40	-	219	100.0	219	219	46	
41	R48	4.9931	41	-	219	100.0	219	219	44	
42	R49	5.1928	42	-	219	100.0	219	219	42	
43	R50	5.4005	43	-	219	100.0	219	219	41	
44	R51	5.6165	44	-	219	100.0	219	219	39	
45	R52	5.8412	45	-	219	100.0	219	219	37	
46	R53	6.0748	46	-	219	100.0	219	219	36	
47	R54	6.3178	47	-	219	100.0	219	219	35	
48	R55	6.5705	48	-	219	100.0	219	219	33	
合計(総便益額)									3,491	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－8

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	景観・環境保全効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	570	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	570	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	570	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	570	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	570	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	570	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	570	100.0	570	570	433	
8	R15	1.3686	8	-	570	100.0	570	570	416	
9	R16	1.4233	9	-	570	100.0	570	570	400	
10	R17	1.4802	10	-	570	100.0	570	570	385	
11	R18	1.5395	11	-	570	100.0	570	570	370	
12	R19	1.6010	12	-	570	100.0	570	570	356	
13	R20	1.6651	13	-	570	100.0	570	570	342	
14	R21	1.7317	14	-	570	100.0	570	570	329	
15	R22	1.8009	15	-	570	100.0	570	570	317	
16	R23	1.8730	16	-	570	100.0	570	570	304	
17	R24	1.9479	17	-	570	100.0	570	570	293	
18	R25	2.0258	18	-	570	100.0	570	570	281	
19	R26	2.1068	19	-	570	100.0	570	570	271	
20	R27	2.1911	20	-	570	100.0	570	570	260	
21	R28	2.2788	21	-	570	100.0	570	570	250	
22	R29	2.3699	22	-	570	100.0	570	570	241	
23	R30	2.4647	23	-	570	100.0	570	570	231	
24	R31	2.5633	24	-	570	100.0	570	570	222	
25	R32	2.6658	25	-	570	100.0	570	570	214	
26	R33	2.7725	26	-	570	100.0	570	570	206	
27	R34	2.8834	27	-	570	100.0	570	570	198	
28	R35	2.9987	28	-	570	100.0	570	570	190	
29	R36	3.1187	29	-	570	100.0	570	570	183	
30	R37	3.2434	30	-	570	100.0	570	570	176	
31	R38	3.3731	31	-	570	100.0	570	570	169	
32	R39	3.5081	32	-	570	100.0	570	570	162	
33	R40	3.6484	33	-	570	100.0	570	570	156	
34	R41	3.7943	34	-	570	100.0	570	570	150	
35	R42	3.9461	35	-	570	100.0	570	570	144	
36	R43	4.1039	36	-	570	100.0	570	570	139	
37	R44	4.2681	37	-	570	100.0	570	570	134	
38	R45	4.4388	38	-	570	100.0	570	570	128	
39	R46	4.6164	39	-	570	100.0	570	570	123	
40	R47	4.8010	40	-	570	100.0	570	570	119	
41	R48	4.9931	41	-	570	100.0	570	570	114	
42	R49	5.1928	42	-	570	100.0	570	570	110	
43	R50	5.4005	43	-	570	100.0	570	570	106	
44	R51	5.6165	44	-	570	100.0	570	570	101	
45	R52	5.8412	45	-	570	100.0	570	570	98	
46	R53	6.0748	46	-	570	100.0	570	570	94	
47	R54	6.3178	47	-	570	100.0	570	570	90	
48	R55	6.5705	48	-	570	100.0	570	570	87	
合計（総便益額）									9,092	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－9

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	水田貯留機能向上効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	8,731	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	8,731	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	8,731	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	8,731	25.7	2,244	2,244	1,918	
5	R12	1.2167	5	-	8,731	43.6	3,807	3,807	3,129	
6	R13	1.2653	6	-	8,731	61.4	5,361	5,361	4,237	
7	R14	1.3159	7	-	8,731	90.2	7,875	7,875	5,984	
8	R15	1.3686	8	-	8,731	100.0	8,731	8,731	6,380	
9	R16	1.4233	9	-	8,731	100.0	8,731	8,731	6,134	
10	R17	1.4802	10	-	8,731	100.0	8,731	8,731	5,899	
11	R18	1.5395	11	-	8,731	100.0	8,731	8,731	5,671	
12	R19	1.6010	12	-	8,731	100.0	8,731	8,731	5,453	
13	R20	1.6651	13	-	8,731	100.0	8,731	8,731	5,244	
14	R21	1.7317	14	-	8,731	100.0	8,731	8,731	5,042	
15	R22	1.8009	15	-	8,731	100.0	8,731	8,731	4,848	
16	R23	1.8730	16	-	8,731	100.0	8,731	8,731	4,662	
17	R24	1.9479	17	-	8,731	100.0	8,731	8,731	4,482	
18	R25	2.0258	18	-	8,731	100.0	8,731	8,731	4,310	
19	R26	2.1068	19	-	8,731	100.0	8,731	8,731	4,144	
20	R27	2.1911	20	-	8,731	100.0	8,731	8,731	3,985	
21	R28	2.2788	21	-	8,731	100.0	8,731	8,731	3,831	
22	R29	2.3699	22	-	8,731	100.0	8,731	8,731	3,684	
23	R30	2.4647	23	-	8,731	100.0	8,731	8,731	3,542	
24	R31	2.5633	24	-	8,731	100.0	8,731	8,731	3,406	
25	R32	2.6658	25	-	8,731	100.0	8,731	8,731	3,275	
26	R33	2.7725	26	-	8,731	100.0	8,731	8,731	3,149	
27	R34	2.8834	27	-	8,731	100.0	8,731	8,731	3,028	
28	R35	2.9987	28	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,912	
29	R36	3.1187	29	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,800	
30	R37	3.2434	30	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,692	
31	R38	3.3731	31	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,588	
32	R39	3.5081	32	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,489	
33	R40	3.6484	33	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,393	
34	R41	3.7943	34	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,301	
35	R42	3.9461	35	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,213	
36	R43	4.1039	36	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,127	
37	R44	4.2681	37	-	8,731	100.0	8,731	8,731	2,046	
38	R45	4.4388	38	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,967	
39	R46	4.6164	39	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,891	
40	R47	4.8010	40	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,819	
41	R48	4.9931	41	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,749	
42	R49	5.1928	42	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,681	
43	R50	5.4005	43	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,617	
44	R51	5.6165	44	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,555	
45	R52	5.8412	45	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,495	
46	R53	6.0748	46	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,437	
47	R54	6.3178	47	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,382	
48	R55	6.5705	48	-	8,731	100.0	8,731	8,731	1,329	
合計（総便益額）									147,920	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-10

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	3,306	939	0.0	0	3,306	3,179	
2	R9	1.0816	2	3,306	939	0.0	0	3,306	3,057	
3	R10	1.1249	3	3,306	939	0.0	0	3,306	2,939	
4	R11	1.1699	4	3,306	939	25.7	241	3,547	3,032	
5	R12	1.2167	5	3,306	939	43.6	409	3,715	3,053	
6	R13	1.2653	6	3,306	939	61.4	577	3,883	3,069	
7	R14	1.3159	7	3,306	939	90.2	847	4,153	3,156	
8	R15	1.3686	8	3,306	939	100.0	939	4,245	3,102	
9	R16	1.4233	9	3,306	939	100.0	939	4,245	2,983	
10	R17	1.4802	10	3,306	939	100.0	939	4,245	2,868	
11	R18	1.5395	11	3,306	939	100.0	939	4,245	2,757	
12	R19	1.6010	12	3,306	939	100.0	939	4,245	2,651	
13	R20	1.6651	13	3,306	939	100.0	939	4,245	2,549	
14	R21	1.7317	14	3,306	939	100.0	939	4,245	2,451	
15	R22	1.8009	15	3,306	939	100.0	939	4,245	2,357	
16	R23	1.8730	16	3,306	939	100.0	939	4,245	2,266	
17	R24	1.9479	17	3,306	939	100.0	939	4,245	2,179	
18	R25	2.0258	18	3,306	939	100.0	939	4,245	2,095	
19	R26	2.1068	19	3,306	939	100.0	939	4,245	2,015	
20	R27	2.1911	20	3,306	939	100.0	939	4,245	1,937	
21	R28	2.2788	21	3,306	939	100.0	939	4,245	1,863	
22	R29	2.3699	22	3,306	939	100.0	939	4,245	1,791	
23	R30	2.4647	23	3,306	939	100.0	939	4,245	1,722	
24	R31	2.5633	24	3,306	939	100.0	939	4,245	1,656	
25	R32	2.6658	25	3,306	939	100.0	939	4,245	1,592	
26	R33	2.7725	26	3,306	939	100.0	939	4,245	1,531	
27	R34	2.8834	27	3,306	939	100.0	939	4,245	1,472	
28	R35	2.9987	28	3,306	939	100.0	939	4,245	1,416	
29	R36	3.1187	29	3,306	939	100.0	939	4,245	1,361	
30	R37	3.2434	30	3,306	939	100.0	939	4,245	1,309	
31	R38	3.3731	31	3,306	939	100.0	939	4,245	1,258	
32	R39	3.5081	32	3,306	939	100.0	939	4,245	1,210	
33	R40	3.6484	33	3,306	939	100.0	939	4,245	1,164	
34	R41	3.7943	34	3,306	939	100.0	939	4,245	1,119	
35	R42	3.9461	35	3,306	939	100.0	939	4,245	1,076	
36	R43	4.1039	36	3,306	939	100.0	939	4,245	1,034	
37	R44	4.2681	37	3,306	939	100.0	939	4,245	995	
38	R45	4.4388	38	3,306	939	100.0	939	4,245	956	
39	R46	4.6164	39	3,306	939	100.0	939	4,245	920	
40	R47	4.8010	40	3,306	939	100.0	939	4,245	884	
41	R48	4.9931	41	3,306	939	100.0	939	4,245	850	
42	R49	5.1928	42	3,306	939	100.0	939	4,245	817	
43	R50	5.4005	43	3,306	939	100.0	939	4,245	786	
44	R51	5.6165	44	3,306	939	100.0	939	4,245	756	
45	R52	5.8412	45	3,306	939	100.0	939	4,245	727	
46	R53	6.0748	46	3,306	939	100.0	939	4,245	699	
47	R54	6.3178	47	3,306	939	100.0	939	4,245	672	
48	R55	6.5705	48	3,306	939	100.0	939	4,245	646	
合計(総便益額)									85,977	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、飼料用米、六条大麦、大豆、かんしょ、さといも

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額^{※1} + 作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稻	新設	ha	ha	22.8	単収増 (水管理改良)	513	523	10	2.3	-	-	-	-
				小計	-	-	-	2.3	206	474	89	422	
				△ 4.2	作付減	-	-	513	△21.5	-	-	-	-
				小計	-	-	-	△21.5	206	△4,429	-	-	
	更新	27.0	27.0	27.0	単収増 (水管理改良)	215	513	298	80.5	-	-	-	-
				小計	-	-	-	80.5	206	16,583	89	14,759	
				水稻計	-	-	-	61	-	12,628	-	15,181	
飼料用米	新設	12.3	9.5	9.5	単収増 (水管理改良)	516	526	10	1.0	-	-	-	-
				小計	-	-	-	1.0	11	11	28	3	
				△ 2.8	作付減	-	-	516	△14.4	-	-	-	-
				小計	-	-	-	△14.4	11	△158	-	-	
	更新	12.3	12.3	12.3	単収増 (水管理改良)	217	516	299	36.8	-	-	-	-
				小計	-	-	-	36.8	11	405	28	113	
				飼料用米計	-	-	-	23	-	258	-	116	
六条大麦	新設	4.8	2.7	2.7	単収増 (田畑輪換)	300	345	45	1.2	-	-	-	-
				小計	-	-	-	1.2	40	48	90	43	
				△ 2.1	作付減	-	-	300	△6.3	-	-	-	-
				小計	-	-	-	△6.3	40	△252	9	△23	
				六条大麦計	-	-	-	△5.1	-	△204	-	20	
大豆	新設	0.5	0.9	0.5	単収増 (田畑輪換)	181	208	27	0.1	-	-	-	-
				小計	-	-	-	0.1	162	16	88	14	
				0.4	作付増	-	-	208	0.8	-	-	-	-
				小計	-	-	-	0.8	162	130	-	-	
				大豆計	-	-	-	0.9	-	146	-	14	

かんしょ	新設	0.3	2.3	0.3	単収増 (田畑輪換)	968	1,113	145	0.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.4	107	43	92	40
				2.0	作付増	-	-	1,113	22.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	22.3	107	2,386	31	740
					かんしょ計	-	-	-	22.7	-	2,429	-	780
さといも	新設	-	2.3	-	単収増 (田畑輪換)	1,574	1,810	236	-	-	-	-	-
					小計	-	-	-	-	211	-	92	-
				-	単収増 (運搬かんがい)	1,574	2,046	472	-	-	-	-	-
					小計	-	-	-	-	211	-	92	-
				2.3	作付増	-	-	2,282	52.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	52.5	211	11,078	31	3,434
					さといも計	-	-	-	52.5	-	11,078	-	3,434
水田計	新設	44.9	40.5									9,347	4,673
	更新	44.9	44.9									16,988	14,872
六条大麦	新設	1.0	-	△ 1.0	作付減	-	-	300	△3.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△3.0	40	△120	9	△11
					六条大麦計	-	-	-	△3.0	-	△120	-	△11
かんしょ	新設	0.2	1.2	1.0	作付増	-	-	968	9.7	-	-	-	-
					小計	-	-	-	9.7	107	1,038	31	322
					かんしょ計	-	-	-	9.7	-	1,038	-	322
さといも	新設	-	0.6	0.6	作付増	-	-	1,574	9.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	9.4	211	1,983	31	615
					さといも計	-	-	-	9.4	-	1,983	-	615
普通畑計	新設	1.2	1.8									2,901	926
	更新	1.2	1.2									-	-
	新設											12,248	5,599
	更新											16,988	14,872
	合計											29,236	20,471

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・関係市の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、県、市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単収 :増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 :農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率 :「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、飼料用米、六条大麦、さといも、かんしょ、大豆

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻(個人) (区画整理)	2,302,512	1,832,337	-	-	470,175	3.9	1,834
水稻(法人) (区画整理)	2,302,512	711,258	-	-	1,591,254	18.9	30,075
水稻 (用水改良)	-	-	2,260,813	2,302,512	△41,699	27.0	△1,126
飼料用米(法人) (区画整理)	2,211,660	654,863	-	-	1,556,797	9.5	14,790
飼料用米 (用水改良)	-	-	2,169,961	2,211,660	△41,699	12.3	△513
六条大麦(法人) (区画整理)	1,674,079	449,601	-	-	1,224,478	2.7	3,306
さといも(法人) (区画整理)	1,205,561	623,001	-	-	582,560	2.9	1,689
かんしょ(法人) (区画整理)	813,134	622,298	-	-	190,836	3.5	668
大豆(法人) (区画整理)	1,400,780	471,234	-	-	929,546	0.9	837
新 設							53,199
更 新							△1,639
合 計							51,560

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、栃木県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、栃木県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

頭首工、用水路、排水路、農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		2,447	3,085	△ 638
更新整備		147	2,447	△ 2,300
合計				△ 2,938

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) 耕作放棄防止効果

○効果の考え方

事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量をもって年効果額を算定した。

○対象工種

区画整理

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば発生が想定される耕作放棄地が有している作物生産の総効果額

○年効果額の算定

区 分	総効果額 ①	割引率	効果算定 期間	還元率 ②	年効果額 ③＝①×②
新設整備	千円 43	0.04	年 48	0.0472	千円 2

- ・総効果額 : 単位面積当たり効果額を基に、各年の事業なかりせば発生する耕作放棄面積を乗じた年別効果額に割引率を適用して算定した割引後の年別効果額を総計して算定した。
- ・還元率 : 総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数。

(5) 農業労働環境改善効果

○効果の考え方

事業の実施により、営農に係る労働が質的に改善（労働強度の改善、精神的疲労の軽減等）される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、受益者にWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により効果を算定した。

○対象作業

水管理、作業時期に係る隣接者との調整

○効果算定式

年効果額 = 労働改善に対する支払意思額 × 受益面積

○年効果額の算定

作業負荷軽減対象作業名	作業負荷軽減対象作業方法			労働改善に関するWTP (円/10a/年)		受益面積 (ha)		年効果額 (千円)	
				更新分	新設及び機能向上	更新分	新設及び機能向上	更新分	新設及び機能向上
	事業なかりせば	現況	計画	①	②	③	④	⑤= ①×③	⑥= ②×④
水管理・作業時期の調整	-	現況では、未整備の水田・用排水路が多いため、隣接耕作者との調整（水管理の調整や作業時期の調整など）で精神的疲労を感じることがある。	計画では、用排水路が整備されるため、水管理等の作業を一筆単位で行うことができる。よって隣接耕作者との調整の負担が軽減され、精神的疲労が軽減される。	-	13,003	-	41.3	-	5,370
合計									5,370

- ・労働改善に関するWTP : 受益者に対するアンケート調査結果から得られた、労働改善に対する支払意思額
- ・受益面積 : 事業地区内における当該効果にかかる受益面積

(6) 地籍確定効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、土地を国土調査する場合に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

○対象

区画整理実施地区のうち国土調査未実施地域

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば国土調査経費 - 事業ありせば国土調査経費) × 還元率

○年効果額の算定

区 分	事業なかりせば 国土調査費 ①	事業ありせば 国土調査費 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (① - ②) × ③
	千円	千円		千円
新設整備	31,935	13	0.0408	1,302

- ・ 事業なかりせば国土調査経費 : 現況国土調査費（近傍地区における国土調査費）
- ・ 事業ありせば国土調査経費 : 計画国土調査費（国土調査法第19条第5項の申請に要する費用相当額）
- ・ 還元率 : 施設等有している総効果額を耐用年数期間（基本的に100年とする）に換算するための係数

(7) 非農用地等創設効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、用地調達に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

○算定対象

区画整理により創設された非農用地

○効果算定式

年効果額 = { 想定経費（事業なかりせば用地調達経費）
- 計画経費（事業ありせば用地調達経費） } × 還元率

○年効果額の算定

区分	想定経費 ①	計画経費 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (① - ②) × ③
新設整備	千円 5,521	千円 144	0.0408	千円 219

- ・ 想定経費 : 区画整理を実施しなかった場合に想定される用地調達経費であり、近傍地区における実例を基に算定した。
- ・ 計画経費 : 区画整理を実施した場合における用地調達経費を算定した。
- ・ 還元率 : 施設等有している総効果額を耐用年数期間（基本的に100年とする）に換算するための係数。

(8) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象施設

環境保全施設

○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額 × 受益範囲世帯数 × {C1 / (C1 + C2)}

ただし、

C1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

○年効果額の算定

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他の事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	排水路	570	165	165	-	570

(9) その他の効果（水田貯留機能向上効果）

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での当該地域や下流域の洪水被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象施設

水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設

○効果算定式

年効果額 = ピークカット流出量 × 排水量当たり単価 × 還元率

○年効果額の算定

区分	ピークカット流出量 ①	排水量当たり単価 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = ① × ② × ③
	m ³ /s	千円/m ³ /s		千円
新設整備	1.21	98,035	0.0736	8,731
更新整備	-	-	-	-
合計				8,731

- ・ピークカット流出量 : 事業なかりせば最大流出量－事業ありせば最大流出量
- ・排水量当たり単価 : 近傍排水施設の事業費と排水量により算定
- ・還元率 : 施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(10) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、飼料用米、六条大麦、大豆、かんしょ、さといも

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額	増加供給熱量 (千kcal)	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千 円)	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千 kcal)	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	①	②	③	④	
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	12,248	34,202	49	9.9	939
更新整備	16,988	249,888	49	9.9	3,306
合計	29,236	284,090			4,245

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、栃木県農政部農地整備課調べ

【便益】

- ・ 関東農政局統計部（令和元年～令和5年）「関東農林水産統計年報」
- ・ 東京都中央卸売市場 市場統計情報（全市場・産地：栃木県）
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（平成31年4月）「平成29年度食品流通段階別価格形成調査（成果物調査）」農林水産省
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、栃木県農政部農地整備課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 千葉県)(地区名: 飯重)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 千葉県)(地区名: 飯重)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	—	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮	—	○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,532	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	100.0	A
			①担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg	3,111	A
			②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	割	4	
			産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	390.3
	②高収益作物の作付面積の増加率	%		458.3		
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	99.2	A
			担い手への面的集積率	%	100.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.0	B
	②作付率の増加ポイント	%	1.8			
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	3,106	A
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組	—	○	A
	②地域活性化に係る話し合い	—	○			
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮	—	a	A	
②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組	—	a				
③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a				

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	○	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	○ ○	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	94.7	A

飯重地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,632,127
当該事業による費用	②	1,368,399
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	263,728
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	47年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	2,434,337
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.49

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業 による費 用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	-	1,368,399	-	275,474	103,642	1,540,231
	計	-	1,368,399	-	275,474	103,642	1,540,231
そ の 他	揚水機場	3,751	-	-	4,739	1,536	6,954
	排水機場	-	-	-	61,467	10,694	50,773
	用水路	-	-	-	38,227	4,058	34,169
	計	3,751	-	-	104,433	16,288	91,896
合 計		3,751	1,368,399	-	379,907	119,930	1,632,127

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		41,904	農業用排水施設整備、区画整理、暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		95,192	農業用排水施設整備、区画整理及び暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 6,968	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農村の振興に関する効果			
地籍確定効果		714	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が節減する効果
多面的機能の発揮に関する効果			
景観・環境保全効果		389	農業用排水施設整備にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		5,711	農業用排水施設整備及び区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		136,942	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	25,588	16,316	0.0	0	25,588	24,604	
2	R9	1.0816	2	25,588	16,316	0.0	0	25,588	23,658	
3	R10	1.1249	3	25,588	16,316	0.0	0	25,588	22,747	
4	R11	1.1699	4	25,588	16,316	23.4	3,818	29,406	25,135	
5	R12	1.2167	5	25,588	16,316	57.8	9,431	35,019	28,782	
6	R13	1.2653	6	25,588	16,316	87.9	14,342	39,930	31,558	
7	R14	1.3159	7	25,588	16,316	93.3	15,223	40,811	31,014	
8	R15	1.3686	8	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	30,618	
9	R16	1.4233	9	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	29,441	
10	R17	1.4802	10	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	28,310	
11	R18	1.5395	11	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	27,219	
12	R19	1.6010	12	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	26,174	
13	R20	1.6651	13	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	25,166	
14	R21	1.7317	14	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	24,198	
15	R22	1.8009	15	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	23,268	
16	R23	1.8730	16	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	22,373	
17	R24	1.9479	17	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	21,512	
18	R25	2.0258	18	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	20,685	
19	R26	2.1068	19	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	19,890	
20	R27	2.1911	20	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	19,125	
21	R28	2.2788	21	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	18,389	
22	R29	2.3699	22	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	17,682	
23	R30	2.4647	23	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	17,002	
24	R31	2.5633	24	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	16,348	
25	R32	2.6658	25	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	15,719	
26	R33	2.7725	26	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	15,114	
27	R34	2.8834	27	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	14,533	
28	R35	2.9987	28	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	13,974	
29	R36	3.1187	29	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	13,436	
30	R37	3.2434	30	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	12,920	
31	R38	3.3731	31	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	12,423	
32	R39	3.5081	32	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	11,945	
33	R40	3.6484	33	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	11,486	
34	R41	3.7943	34	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	11,044	
35	R42	3.9461	35	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	10,619	
36	R43	4.1039	36	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	10,211	
37	R44	4.2681	37	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	9,818	
38	R45	4.4388	38	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	9,440	
39	R46	4.6164	39	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	9,077	
40	R47	4.8010	40	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	8,728	
41	R48	4.9931	41	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	8,392	
42	R49	5.1928	42	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	8,070	
43	R50	5.4005	43	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	7,759	
44	R51	5.6165	44	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	7,461	
45	R52	5.8412	45	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	7,174	
46	R53	6.0748	46	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	6,898	
47	R54	6.3178	47	25,588	16,316	100.0	16,316	41,904	6,633	
合計 (総便益額)									817,772	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 5,775	100,967	0.0	0	△ 5,775	△ 5,553	
2	R9	1.0816	2	△ 5,775	100,967	0.0	0	△ 5,775	△ 5,339	
3	R10	1.1249	3	△ 5,775	100,967	0.0	0	△ 5,775	△ 5,134	
4	R11	1.1699	4	△ 5,775	100,967	23.4	23,626	17,851	15,259	
5	R12	1.2167	5	△ 5,775	100,967	57.8	58,359	52,584	43,219	
6	R13	1.2653	6	△ 5,775	100,967	87.9	88,750	82,975	65,577	
7	R14	1.3159	7	△ 5,775	100,967	93.3	94,202	88,427	67,199	
8	R15	1.3686	8	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	69,554	
9	R16	1.4233	9	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	66,881	
10	R17	1.4802	10	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	64,310	
11	R18	1.5395	11	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	61,833	
12	R19	1.6010	12	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	59,458	
13	R20	1.6651	13	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	57,169	
14	R21	1.7317	14	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	54,970	
15	R22	1.8009	15	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	52,858	
16	R23	1.8730	16	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	50,823	
17	R24	1.9479	17	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	48,869	
18	R25	2.0258	18	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	46,990	
19	R26	2.1068	19	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	45,183	
20	R27	2.1911	20	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	43,445	
21	R28	2.2788	21	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	41,773	
22	R29	2.3699	22	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	40,167	
23	R30	2.4647	23	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	38,622	
24	R31	2.5633	24	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	37,137	
25	R32	2.6658	25	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	35,709	
26	R33	2.7725	26	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	34,334	
27	R34	2.8834	27	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	33,014	
28	R35	2.9987	28	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	31,744	
29	R36	3.1187	29	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	30,523	
30	R37	3.2434	30	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	29,349	
31	R38	3.3731	31	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	28,221	
32	R39	3.5081	32	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	27,135	
33	R40	3.6484	33	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	26,091	
34	R41	3.7943	34	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	25,088	
35	R42	3.9461	35	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	24,123	
36	R43	4.1039	36	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	23,195	
37	R44	4.2681	37	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	22,303	
38	R45	4.4388	38	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	21,445	
39	R46	4.6164	39	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	20,620	
40	R47	4.8010	40	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	19,828	
41	R48	4.9931	41	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	19,065	
42	R49	5.1928	42	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	18,332	
43	R50	5.4005	43	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	17,627	
44	R51	5.6165	44	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	16,949	
45	R52	5.8412	45	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	16,297	
46	R53	6.0748	46	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	15,670	
47	R54	6.3178	47	△ 5,775	100,967	100.0	100,967	95,192	15,067	
合計 (総便益額)									1,606,999	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 2,107	△ 4,861	0.0	0	△ 2,107	△ 2,026	
2	R9	1.0816	2	△ 2,107	△ 4,861	0.0	0	△ 2,107	△ 1,948	
3	R10	1.1249	3	△ 2,107	△ 4,861	0.0	0	△ 2,107	△ 1,873	
4	R11	1.1699	4	△ 2,107	△ 4,861	23.4	△ 1,137	△ 3,244	△ 2,773	
5	R12	1.2167	5	△ 2,107	△ 4,861	57.8	△ 2,810	△ 4,917	△ 4,041	
6	R13	1.2653	6	△ 2,107	△ 4,861	87.9	△ 4,273	△ 6,380	△ 5,042	
7	R14	1.3159	7	△ 2,107	△ 4,861	93.3	△ 4,535	△ 6,642	△ 5,047	
8	R15	1.3686	8	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 5,091	
9	R16	1.4233	9	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 4,896	
10	R17	1.4802	10	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 4,707	
11	R18	1.5395	11	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 4,526	
12	R19	1.6010	12	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 4,352	
13	R20	1.6651	13	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 4,185	
14	R21	1.7317	14	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 4,024	
15	R22	1.8009	15	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 3,869	
16	R23	1.8730	16	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 3,720	
17	R24	1.9479	17	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 3,577	
18	R25	2.0258	18	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 3,440	
19	R26	2.1068	19	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 3,307	
20	R27	2.1911	20	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 3,180	
21	R28	2.2788	21	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 3,058	
22	R29	2.3699	22	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,940	
23	R30	2.4647	23	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,827	
24	R31	2.5633	24	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,718	
25	R32	2.6658	25	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,614	
26	R33	2.7725	26	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,513	
27	R34	2.8834	27	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,417	
28	R35	2.9987	28	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,324	
29	R36	3.1187	29	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,234	
30	R37	3.2434	30	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,148	
31	R38	3.3731	31	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 2,066	
32	R39	3.5081	32	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,986	
33	R40	3.6484	33	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,910	
34	R41	3.7943	34	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,836	
35	R42	3.9461	35	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,766	
36	R43	4.1039	36	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,698	
37	R44	4.2681	37	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,633	
38	R45	4.4388	38	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,570	
39	R46	4.6164	39	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,509	
40	R47	4.8010	40	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,451	
41	R48	4.9931	41	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,396	
42	R49	5.1928	42	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,342	
43	R50	5.4005	43	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,290	
44	R51	5.6165	44	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,241	
45	R52	5.8412	45	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,193	
46	R53	6.0748	46	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,147	
47	R54	6.3178	47	△ 2,107	△ 4,861	100.0	△ 4,861	△ 6,968	△ 1,103	
合計 (総便益額)									△ 127,554	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	地籍確定効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	714	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	714	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	714	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	714	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	714	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	714	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	714	0.0	0	0	0	
8	R15	1.3686	8	-	714	100.0	714	714	522	
9	R16	1.4233	9	-	714	100.0	714	714	502	
10	R17	1.4802	10	-	714	100.0	714	714	482	
11	R18	1.5395	11	-	714	100.0	714	714	464	
12	R19	1.6010	12	-	714	100.0	714	714	446	
13	R20	1.6651	13	-	714	100.0	714	714	429	
14	R21	1.7317	14	-	714	100.0	714	714	412	
15	R22	1.8009	15	-	714	100.0	714	714	396	
16	R23	1.8730	16	-	714	100.0	714	714	381	
17	R24	1.9479	17	-	714	100.0	714	714	367	
18	R25	2.0258	18	-	714	100.0	714	714	352	
19	R26	2.1068	19	-	714	100.0	714	714	339	
20	R27	2.1911	20	-	714	100.0	714	714	326	
21	R28	2.2788	21	-	714	100.0	714	714	313	
22	R29	2.3699	22	-	714	100.0	714	714	301	
23	R30	2.4647	23	-	714	100.0	714	714	290	
24	R31	2.5633	24	-	714	100.0	714	714	279	
25	R32	2.6658	25	-	714	100.0	714	714	268	
26	R33	2.7725	26	-	714	100.0	714	714	258	
27	R34	2.8834	27	-	714	100.0	714	714	248	
28	R35	2.9987	28	-	714	100.0	714	714	238	
29	R36	3.1187	29	-	714	100.0	714	714	229	
30	R37	3.2434	30	-	714	100.0	714	714	220	
31	R38	3.3731	31	-	714	100.0	714	714	212	
32	R39	3.5081	32	-	714	100.0	714	714	204	
33	R40	3.6484	33	-	714	100.0	714	714	196	
34	R41	3.7943	34	-	714	100.0	714	714	188	
35	R42	3.9461	35	-	714	100.0	714	714	181	
36	R43	4.1039	36	-	714	100.0	714	714	174	
37	R44	4.2681	37	-	714	100.0	714	714	167	
38	R45	4.4388	38	-	714	100.0	714	714	161	
39	R46	4.6164	39	-	714	100.0	714	714	155	
40	R47	4.8010	40	-	714	100.0	714	714	149	
41	R48	4.9931	41	-	714	100.0	714	714	143	
42	R49	5.1928	42	-	714	100.0	714	714	137	
43	R50	5.4005	43	-	714	100.0	714	714	132	
44	R51	5.6165	44	-	714	100.0	714	714	127	
45	R52	5.8412	45	-	714	100.0	714	714	122	
46	R53	6.0748	46	-	714	100.0	714	714	118	
47	R54	6.3178	47	-	714	100.0	714	714	113	
合計（総便益額）									10,741	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	景観・環境保全効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	389	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	389	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	389	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	389	23.4	91	91	78	
5	R12	1.2167	5	-	389	57.8	225	225	185	
6	R13	1.2653	6	-	389	87.9	342	342	270	
7	R14	1.3159	7	-	389	93.3	363	363	276	
8	R15	1.3686	8	-	389	100.0	389	389	284	
9	R16	1.4233	9	-	389	100.0	389	389	273	
10	R17	1.4802	10	-	389	100.0	389	389	263	
11	R18	1.5395	11	-	389	100.0	389	389	253	
12	R19	1.6010	12	-	389	100.0	389	389	243	
13	R20	1.6651	13	-	389	100.0	389	389	234	
14	R21	1.7317	14	-	389	100.0	389	389	225	
15	R22	1.8009	15	-	389	100.0	389	389	216	
16	R23	1.8730	16	-	389	100.0	389	389	208	
17	R24	1.9479	17	-	389	100.0	389	389	200	
18	R25	2.0258	18	-	389	100.0	389	389	192	
19	R26	2.1068	19	-	389	100.0	389	389	185	
20	R27	2.1911	20	-	389	100.0	389	389	178	
21	R28	2.2788	21	-	389	100.0	389	389	171	
22	R29	2.3699	22	-	389	100.0	389	389	164	
23	R30	2.4647	23	-	389	100.0	389	389	158	
24	R31	2.5633	24	-	389	100.0	389	389	152	
25	R32	2.6658	25	-	389	100.0	389	389	146	
26	R33	2.7725	26	-	389	100.0	389	389	140	
27	R34	2.8834	27	-	389	100.0	389	389	135	
28	R35	2.9987	28	-	389	100.0	389	389	130	
29	R36	3.1187	29	-	389	100.0	389	389	125	
30	R37	3.2434	30	-	389	100.0	389	389	120	
31	R38	3.3731	31	-	389	100.0	389	389	115	
32	R39	3.5081	32	-	389	100.0	389	389	111	
33	R40	3.6484	33	-	389	100.0	389	389	107	
34	R41	3.7943	34	-	389	100.0	389	389	103	
35	R42	3.9461	35	-	389	100.0	389	389	99	
36	R43	4.1039	36	-	389	100.0	389	389	95	
37	R44	4.2681	37	-	389	100.0	389	389	91	
38	R45	4.4388	38	-	389	100.0	389	389	88	
39	R46	4.6164	39	-	389	100.0	389	389	84	
40	R47	4.8010	40	-	389	100.0	389	389	81	
41	R48	4.9931	41	-	389	100.0	389	389	78	
42	R49	5.1928	42	-	389	100.0	389	389	75	
43	R50	5.4005	43	-	389	100.0	389	389	72	
44	R51	5.6165	44	-	389	100.0	389	389	69	
45	R52	5.8412	45	-	389	100.0	389	389	67	
46	R53	6.0748	46	-	389	100.0	389	389	64	
47	R54	6.3178	47	-	389	100.0	389	389	62	
合計（総便益額）									6,665	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－6

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	5,593	118	0.0	0	5,593	5,378	
2	R9	1.0816	2	5,593	118	0.0	0	5,593	5,171	
3	R10	1.1249	3	5,593	118	0.0	0	5,593	4,972	
4	R11	1.1699	4	5,593	118	23.4	28	5,621	4,805	
5	R12	1.2167	5	5,593	118	57.8	68	5,661	4,653	
6	R13	1.2653	6	5,593	118	87.9	104	5,697	4,502	
7	R14	1.3159	7	5,593	118	93.3	110	5,703	4,334	
8	R15	1.3686	8	5,593	118	100.0	118	5,711	4,173	
9	R16	1.4233	9	5,593	118	100.0	118	5,711	4,013	
10	R17	1.4802	10	5,593	118	100.0	118	5,711	3,858	
11	R18	1.5395	11	5,593	118	100.0	118	5,711	3,710	
12	R19	1.6010	12	5,593	118	100.0	118	5,711	3,567	
13	R20	1.6651	13	5,593	118	100.0	118	5,711	3,430	
14	R21	1.7317	14	5,593	118	100.0	118	5,711	3,298	
15	R22	1.8009	15	5,593	118	100.0	118	5,711	3,171	
16	R23	1.8730	16	5,593	118	100.0	118	5,711	3,049	
17	R24	1.9479	17	5,593	118	100.0	118	5,711	2,932	
18	R25	2.0258	18	5,593	118	100.0	118	5,711	2,819	
19	R26	2.1068	19	5,593	118	100.0	118	5,711	2,711	
20	R27	2.1911	20	5,593	118	100.0	118	5,711	2,606	
21	R28	2.2788	21	5,593	118	100.0	118	5,711	2,506	
22	R29	2.3699	22	5,593	118	100.0	118	5,711	2,410	
23	R30	2.4647	23	5,593	118	100.0	118	5,711	2,317	
24	R31	2.5633	24	5,593	118	100.0	118	5,711	2,228	
25	R32	2.6658	25	5,593	118	100.0	118	5,711	2,142	
26	R33	2.7725	26	5,593	118	100.0	118	5,711	2,060	
27	R34	2.8834	27	5,593	118	100.0	118	5,711	1,981	
28	R35	2.9987	28	5,593	118	100.0	118	5,711	1,904	
29	R36	3.1187	29	5,593	118	100.0	118	5,711	1,831	
30	R37	3.2434	30	5,593	118	100.0	118	5,711	1,761	
31	R38	3.3731	31	5,593	118	100.0	118	5,711	1,693	
32	R39	3.5081	32	5,593	118	100.0	118	5,711	1,628	
33	R40	3.6484	33	5,593	118	100.0	118	5,711	1,565	
34	R41	3.7943	34	5,593	118	100.0	118	5,711	1,505	
35	R42	3.9461	35	5,593	118	100.0	118	5,711	1,447	
36	R43	4.1039	36	5,593	118	100.0	118	5,711	1,392	
37	R44	4.2681	37	5,593	118	100.0	118	5,711	1,338	
38	R45	4.4388	38	5,593	118	100.0	118	5,711	1,287	
39	R46	4.6164	39	5,593	118	100.0	118	5,711	1,237	
40	R47	4.8010	40	5,593	118	100.0	118	5,711	1,190	
41	R48	4.9931	41	5,593	118	100.0	118	5,711	1,144	
42	R49	5.1928	42	5,593	118	100.0	118	5,711	1,100	
43	R50	5.4005	43	5,593	118	100.0	118	5,711	1,057	
44	R51	5.6165	44	5,593	118	100.0	118	5,711	1,017	
45	R52	5.8412	45	5,593	118	100.0	118	5,711	978	
46	R53	6.0748	46	5,593	118	100.0	118	5,711	940	
47	R54	6.3178	47	5,593	118	100.0	118	5,711	904	
合計（総便益額）									119,714	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、飼料用米、ねぎ、露地花壇苗(パンジー)、露地花壇苗(マリーゴールド)

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稲	新設	42.1	38.3	38.3	単収増(乾田化)	529	561	32	12.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	12.3	222	2,731	89	2,431
				△3.8	作付減	-	-	529	△20.1	-	-	-	-
	更新	42.1	42.1	42.1	単収増(水管理改良)	222	529	307	129.2	-	-	-	-
					小計	-	-	-	129.2	222	28,682	89	25,527
					水稲計	-	-	-	121.4	-	26,951	-	27,958
飼料用米	新設	5.4	5.5	5.5	単収増(乾田化)	700	742	42	2.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	2.3	10	23	28	6
				0.1	作付増	-	-	700	0.7	-	-	-	-
	更新	5.4	5.4	5.4	単収増(水管理改良)	294	700	406	21.9	-	-	-	-
					小計	-	-	-	21.9	10	219	28	61
					飼料用米計	-	-	-	24.9	-	249	-	67
ねぎ	新設	-	1.0	1.0	作付増	-	-	2,884	28.8	-	-	-	-
					小計	-	-	-	28.8	187	5,386	16	862
					ねぎ計	-	-	-	28.8	-	5,386	-	862
水田計	新設	47.5	44.8							3,685		3,299	
	更新	47.5	47.5							28,901		25,588	
ねぎ	新設	-	0.5	0.5	作付増	-	-	2,508	12.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	12.5	187	2,338	16	374
					ねぎ計	-	-	-	12.5	-	2,338	-	374
露地花壇苗(パンジー)	新設	0.9	3.6	2.7	作付増	-	-	20	540.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	540.0	60	32,400	24	7,776
					露地花壇苗計	-	-	-	540.0	-	32,400	-	7,776
露地花壇苗(マリーゴールド)	新設	0.3	1.6	1.3	作付増	-	-	39	507.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	507.0	40	20,280	24	4,867
					露地花壇苗計	-	-	-	507.0	-	20,280	-	4,867
普通畑計	新設	1.2	5.7							55,018		13,017	
	更新	-	-									-	
合計	新設											58,703	16,316
	更新											28,901	25,588
合計												87,604	41,904

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、飼料用米、ねぎ

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稲、飼料用米 (区画整理)	円 3,343,841	円 1,059,513	円 -	円 -	円 2,284,328	ha 43.8	千円 100,054
ねぎ (区画整理)	7,377,211	6,768,729	-	-	608,482	1.5	913
水稲、飼料用米 (用水改良)	-	-	3,222,256	3,343,841	△121,585	47.5	△5,775
新 設							100,967
更 新							△5,775
合 計							95,192

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・ 現況営農経費 : 地域の営農経費であり、千葉県農業経営指標等に基づき算定した。
- ・ 計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、千葉県農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・ 事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

用水路、排水路、農道、調整池

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		7,063	11,924	△ 4,861
更新整備		4,956	7,063	△ 2,107
合計				△ 6,968

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) 地籍確定効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、土地を国土調査する場合に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

○対象

区画整理実施地区のうち国土調査未実施地域

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば国土調査経費 - 事業ありせば国土調査経費) × 還元率

○年効果額の算定

区 分	事業なかりせば 国土調査費 ①	事業ありせば 国土調査費 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (① - ②) × ③
	千円	千円		千円
新設整備	17,755	243	0.0408	714

- ・ 事業なかりせば国土調査経費 : 現況国土調査費（近傍地区における国土調査費）
- ・ 事業ありせば国土調査経費 : 計画国土調査費（国土調査法第19条第5項の申請に要する費用相当額）
- ・ 還元率 : 施設等が有している総効果額を耐用年数期間（基本的に100年とする）に換算するための係数

(5) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象施設

環境保全施設

○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額^{*} × 受益範囲世帯数 × {C1 / (C1 + C2)}

ただし、

C1: 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2: 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

※過去の国営地区における算定結果を基にした計算式によりWTPを推計

○年効果額の算定

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他の事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	排水路	389	487	487	-	389

(6) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、飼料用米、ねぎ

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千 円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千 kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	6,023	△ 17,872	49	9.9	118
更新整備	28,901	421,895	49	9.9	5,593
合計	34,924	404,023			5,711

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、千葉県農林水産部耕地課調べ

【便益】

- ・ 農林水産省大臣官房統計部「令和元年～令和5年作物統計」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、千葉県農林水産部耕地課調べ